带状疱疹に関する臨床研究の公開（オプトアウト）

带状疱疹ワクチンの定期接種化が議論されていますが、国レベルでの带状疱疹患者発生動向調査が実施されておらず、神奈川県内でも带状疱疹の患者発生動向は明らかになっていません。神奈川県衛生研究所では、本研究の主旨をご理解いただき、研究にご協力いただいた神奈川県内の皮膚科医療機関と共同で、带状疱疹の発生動向について疫学調査を行っています。带状疱疹ワクチン定期接種化前の神奈川県内の带状疱疹の患者疫学情報を収集することで带状疱疹の発生動向を把握し、带状疱疹の疾病負荷を明らかにしたいと考えております。また、定期接種化が実現した場合は、前後の発生動向を比較検討することでワクチンの効果を検討することを目的とし、解析を行っております。

神奈川県内の皮膚科医療機関からご提供いただきました疫学情報について、以下の研究課題に使用させていただく場合があります。この研究に使用する場合であっても、ご提供者様の氏名など個人を特定できる情報は調査対象に含まれていませんので、個人を特定することはできません。ただし、带状疱疹で医療機関を受診された年や年齢、性別、居住地（市町村まで、東京都の場合のみ区まで）、発症年月、带状疱疹の部位・症状、入院の有無、ワクチン接種歴等の情報は調査対象に含まれますので、個人が特定されないように情報保護には十分配慮しながら研究を進めさせていただきます。従いまして、研究成果の発表により個人が特定されることはありません。

ご提供いただいた疫学情報を本研究課題に使用することについて、神奈川県衛生研究所に送付する前であれば、ご提供者様はいつでも拒否することができます。また、拒否することにより、不利益を被ることは一切ありません。本研究課題への情報利用を拒否したい場合には、ご提供者様からの申し出により調査用紙を神奈川県衛生研究所に送付することはありません。既に神奈川県衛生研究所に送付した後の場合は、個人を特定することができないため、除外することが困難になりますことをご了承ください。いかなる理由があっても、個人に繋がるような情報は公表いたしません。

研究への疫学情報利用を拒否される方およびこの研究へのご質問・ご相談がある方は、以下のお問い合わせフォームから下記研究責任者宛てにてご連絡下さい。

お問い合わせフォーム（神奈川県電子申請システム）：

<https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/userLoginDispNon?tempSeq=5978&accessFrom=null>

研究課題名	带状疱疹ワクチン定期接種化前後の带状疱疹の発生動向に関する研究
研究期間	倫理審査委員会承認日 から 2027年3月31日
神奈川県衛生研究所 研究担当者	所 長 多屋 馨子（研究責任者） 企画情報部 木村 睦未 企画情報部 篠原 良輔 企画情報部 藤井 絵美 企画情報部 関戸 晴子
調査試料・情報の利用目的・利用方法	带状疱疹ワクチン定期接種化前の神奈川県内の带状疱疹の患者疫学情報を収集することで発生動向を把握し、定期接種化が実現した場合は、前後の発生動向を把握することでワクチンの効果を明らかにすることを目的とします。
対象試料・情報の項目	政令指定都市（横浜市・川崎市・相模原市）を除く神奈川県内の皮膚科を標ぼうする医療機関を受診した患者のうち、带状疱疹と診断された方の疫学情報（発症年、年齢、性別、居住地（市町村まで、東京都の場合のみ区まで）、発症年月、带状疱疹の部位・症状、入院の有無、ワクチン接種歴）
対象情報の収集対象期間	2020年1月1日 から 2026年12月31日（初診日）
試料・情報を利用する者の範囲 および 試料・情報の管理について責任を有する機関の名称 （他機関への提供を伴う場合はその詳細）	神奈川県衛生研究所が試料・情報の管理の責任を有し、同研究所の多屋 馨子を研究責任者として研究担当者のみが使用します。